

府本小149

府本小学校だより
第4号(R5.5.31)

「挑戦！えがおで
さらに一步前進」
文責：校長 右田尚久



早いもので、もう今日から6月です。6月の和名は「水無月」。ここに使われる「無」は、「無い」という意味ではなく、「の」を意味します。「水無月」とは、「田んぼに水を引く月」を由来とし、「水の月」という意味があります。暦の上では、「立春」から135日目の6月11日頃が「入梅」です。梅の実が熟す頃で、梅雨の始まりとされていますが、現代では気象庁から発表される「梅雨入り」「梅雨明け」が梅雨の目安です。他には、葵月（あおいづき）、風待月（かぜまちづき）、常夏月（とこなつづき）とも言われます。蒸し暑い季節になりますので、体調管理や食中毒等にも気をつけたいものです。

第1回学校運営協議会がありました。

5月18日に府本小学校運営協議会を開催しました。学校運営や子供たちの健全育成のために、いろいろなご助言やご協力をいただき会議です。昨年度から荒尾市全小中学校が国版のコミュニティ・スクールとなり、市内の学校は、この学校運営協議会が発足しました。今回が本年度初めての会で、本年度、4名の方々に新たに加わっていただきました。冒頭に、荒尾市教育委員会より委嘱状渡しがあり、自己紹介後、審議に入っていました。

まず、学校運営方針を説明し、参加者全員の承認をいただきました。また、規約や年間開催予定内容を説明していきました。最後の意見交換では、交通指導をされている方より、「元気が良くあいさつがよくなったという意見があるが、朝から立っている私には、全く挨拶をしない児童もいる。先生たちの前では元気のいいあいさつができています。」といったご意見も出されました。「いつでもどこでも誰にでも立ち止まった挨拶」が本年度の目標ですので、子供たちと一緒に頑張っていきたいと思えます。

本年度の学校運営協議会の方々を紹介します。

会長：山崎和義様（地区協議会会長） 前田義昭様（府本上区長） 大畠利晴様（交通指導ボランティア代表） 門田史郎様（樺下区長） 松永由美子様（教員業務支援員） 徳山一夫様（少年指導センター指導員代表） 田中なつみ様（民生委員） 杉森將興様（府本幼稚園園長） 富松高司様（PTA会長） 門田勇気様（PTA副会長） 田畑嘉之様（地域学校協働活動推進委員） 校長、教頭、教務主任
以上の14名です。よろしくお願いします。



命の集会

府本小学校では、毎年『命の集会』として、自分の命について考える集会を行っています。

平成10年9月27日、この府本小学校の5年生が交通事故で尊い命が奪われました。それから25年間、その教訓を忘れないようにと年に4～5回集会を行っています。本年度の1回目は、前田教頭先生からの講話で、自分の幼少期の頃の経験や阪神淡路大震災で友達の命が亡くなったことなどを振り返り、命は1度きりのものであること、輝く限られた命であるからこそ今を大切にしたいと話されました。みんな真剣に話に聞き入り、返しの発表もたくさんしてくれました。



人権について考える

5月19日（金）に人権擁護委員5名のみなさまがゲストティーチャーとして来ていただき、「思いやりの心を育む人権教室」をしていただきました。

低学年は、小島先生より『ねずみくんのきもち』について教材の内容を考え、自分の意見をいっぱい発表していきました。いじめをなくすには、思いやりの心を育てることとみんな助け合うことが大切と言うことを学びました。

高学年は、高尾先生より『ハンセン病問題を知る』教材でした。無知こそ差別の始まりであること。正しい知識を知ること。自分とは違う人を差別する人間をなくすこと。一人一人に何が出来るかを考えて行動していきましょう。とまとめられました。たくさんの感想も聞くことができました。



協力、感動、迫力のある大運動会



5月27日（土）に上記のテーマで運動会を開催しました。天候の心配もなく、晴天の下、運動会ができたことをうれしく思います。また、多くの保護者の方、来賓の方々に応援していただき、ありがとうございました。これまで2週間以上にわたって練習を重ねてきました。その頑張りをしっかり発揮することができたと思います。毎日、疲れて帰宅した子供たちを支えていただいた保護者の皆様に感謝いたします。

子供たちの練習を毎日見てきましたが、当日までに「お互いに励まし合い、応援しあうの協力」「見ている人を感動させようとする頑張り」まさに「子供たちの迫力を感じる」運動会を実現するために全校児童が一つになって精一杯頑張っていました。それを引っ張ってきた高学年のみなさん、ありがとうございました。さらに一歩前進した運動会でした。



「協力！感動！そして迫力のある大運動会」をありがとう。